

特別の教育課程編成方針等について

| | | |
|---------------|----------|-------|
| 山梨県 | | |
| 学校名 | 管理機関名 | 開始年度 |
| 山梨県立都留興譲館高等学校 | 山梨県教育委員会 | 令和8年度 |

Ⅰ 特別の教育課程の概要

(1) 教科名：「探究」

(2) 対 象：英語理数科2，3年生

(3) 内 容：

【新設する科目】「グローバルサイエンス」（2単位）

英語理数科第2学年および第3学年において、教科「探究」を設定し、科目として「グローバルサイエンス」を各1単位で設定する。本科目は、データ分析や科学的手法を活用した課題解決を通じて、仮説の構築と検証のプロセスを実践的に習得することを目的とする。また、英語による資料の読解・発表・討論を取り入れ、科学的知見を国際的な視点で理解・発信する力を育成する。さらに、多文化協働や国際的課題への探究活動を通じて、英語によるコミュニケーション能力と国際理解を深めていく。これらの学びを通じて、生徒は科学的思考力とグローバルな視野を兼ね備え、社会課題に主体的に取り組む力を養うことが期待される。

英語理数科では、これまでの理数探究の取り組みにおいて、地域のニーズに応えるため、国際交流や英語教育にも力を入れてきた。これにより、「国際的な視野の強化」「言語能力の伸長を伴う発信力の向上」「社会貢献への意識の向上」を目指してきた。さらに今後は、新教科「探究」において、多様な文化的背景を持つ人々との協働や、英語による議論・発表を通じてコミュニケーション能力を高めるとともに、地域社会や世界が直面する課題に対して、主体的かつ創造的に取り組む姿勢を育てていく。その過程では、情報の信頼性を多角的に評価しながら、計画的に探究活動を進める力を養うことを重視する。これらの取り組みを通じて、理数探究の目標である「探究に必要な知識・技能の習得」「多角的・複合的な視点からの課題解決力の育成」「創造的な力の向上」「新たな価値の創造への挑戦」「探究過程の振り返りと改善」「倫理的な態度の涵養」を補完する。特に、「現代的な諸課題への対応」「生徒の興味・関心に基づく課題設定」「自己の進路に関する課題」などを踏まえた探究活動を通じ、「理数探究」の学習内容を補完した上で、更に課題解決に必要な資質・能力の育成を図っていく。なお、「理数探究」の代替として新設する「探究」は、総合的な探究の時間の目標に沿った資質・能力の育成を実現する内容であり、教科横断的・総合的な学びを通じて、生徒が自己の在り方や生き方を主体的に考える機会を提供するものである。したがっ

て、「探究」の履修により、総合的な探究の時間の履修と同様の成果が期待できるため、「探究」の履修をもって、総合的な探究の時間の履修に替えることとする。

2 地域や学校の特色と、その特色を活かして特別の教育課程を編成して教育を行う理由

英語理数科は、地域の教育的ニーズに応えることを目的とし、国際交流および英語教育に重点を置いた教育活動に継続的に取り組んできた。また、本校はコミュニティ・スクールとして、地域の大学や地元企業との連携を積極的に進めており、地域の人材育成に対する期待にも応える教育活動を展開している。地域資源の活用や産学連携による支援を受けながら、探究的な学びの充実を図るために、特別の教育課程を編成して教育を実施する。